

【資料３－１】沿線モビリティ・マネジメント（MM）事業について

MOVE NEXT UTSUNOMIYA

令和6年度まで

MOVE NEXT UTSUNOMIYA（公共交通利用促進「運動」）

ライトライン開業やバス路線再編を節目とした“機運醸成”を軸に施策設計，実施

利便性向上策

- ・ 運賃負担軽減策
上限運賃制度，乗継割引制度
- ・ 公共交通利用環境整備，補助金
（ハード面の充実）

利用促進策

- ・ ライトライン・再編バス路線沿線MM
- ・ 小中学生・高校生へのtotra配布
- ・ 通学定期券補助制度
（ソフト面の充実）

情報PR （プロモーション）

- ・ 公共交通利用促進プロモーション事業
- ・ ニュースレター
- ・ プッシュ型の情報伝達
（ハード面，ソフト面の情報発信）

フェーズの変化

- ・ 公共交通の環境を取り巻くフェーズの変化
- ・ 西側延伸，開業まで一定の期間がある

令和7年度から

MOVE NEXT UTSUNOMIYA＝「宇都宮版MM」と呼称し，

ライトライン西側延伸（ハード面整備の一定のゴール）のタイミングにMNU2.0を確実に実現するための施策

利便性向上策

- ・ Maasの基盤整備に向けたデジタル技術の活用
- ・ 利用者目線に立った各種サービスのシームレス化

利用促進策

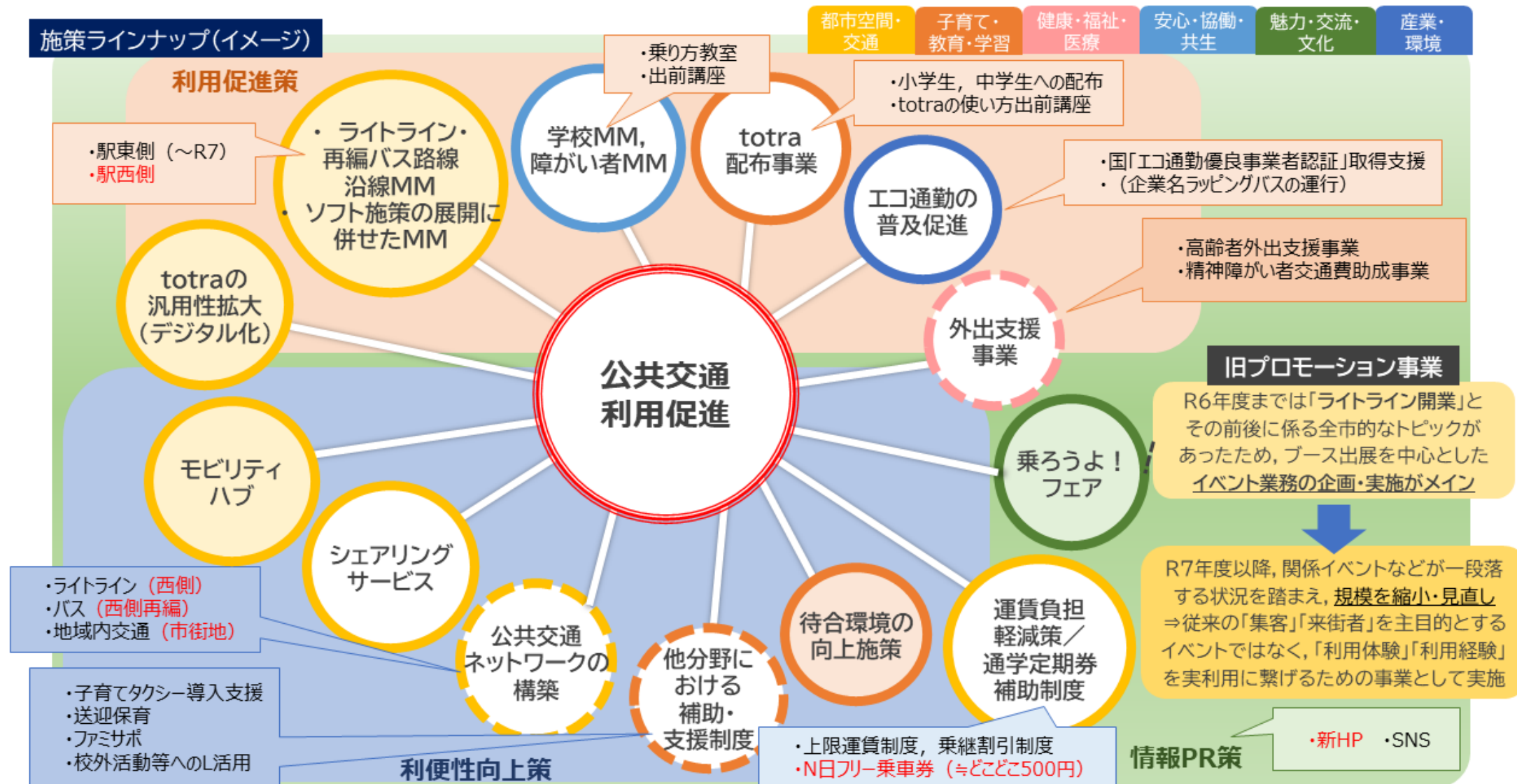
- ・ 多様な分野における移動課題の解決を目標にしたMM
- ・ 市民ニーズや各事業の走り出しに連動した時期を捉えた働きかけ

情報PR

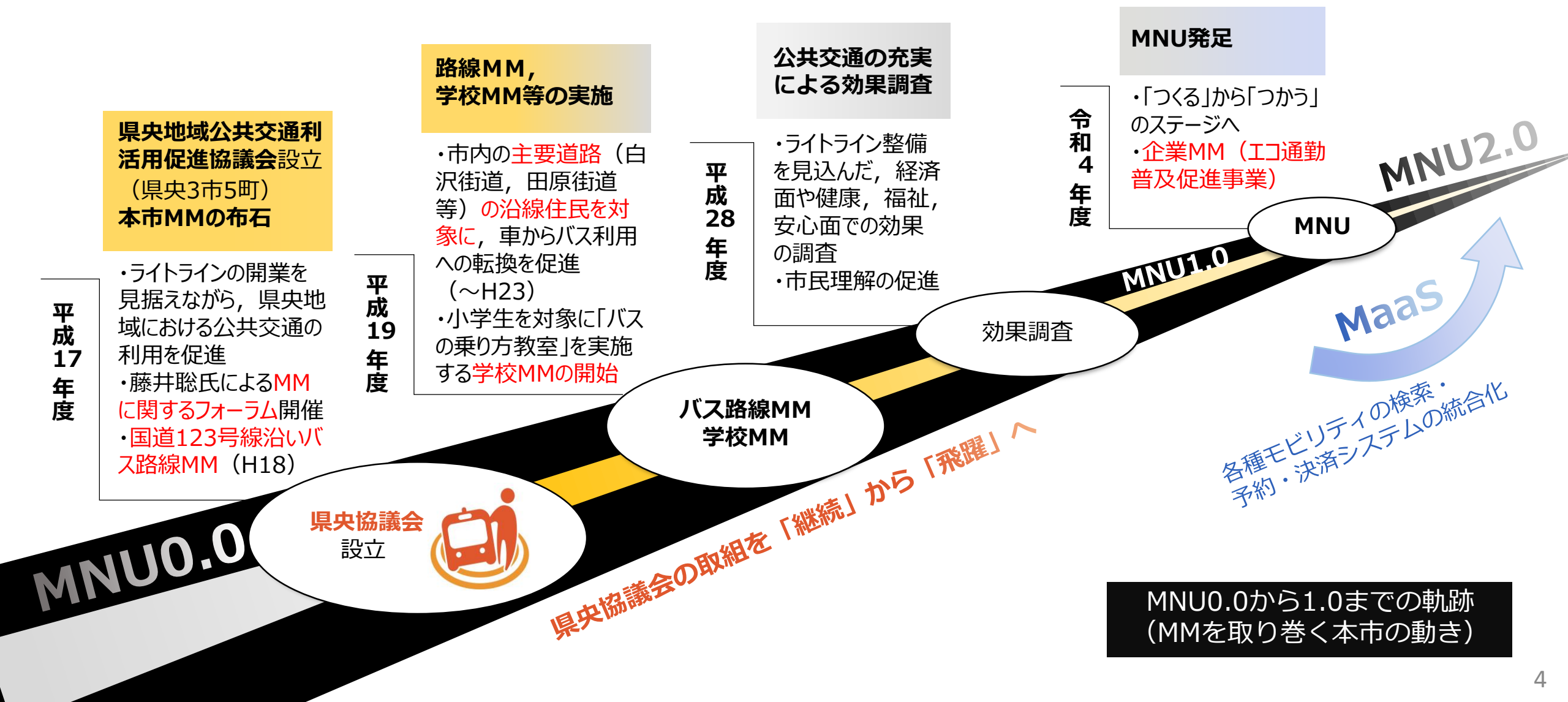
- ・ 乗車体験，利用経験の創出に特化した体験型MMの展開
- ・ 市民目線で「望む人が確実に情報にたどり着ける」形式の情報発信

MOVE NEXT UTSUNOMIYA

「宇都宮都市交通戦略」に掲げる各政策分野における移動課題の解決を意識した、**ターゲット型のMM事業**に重点化を図り、実施していく。



MM（モビリティ・マネジメント）



MM（モビリティ・マネジメント）

R5年8月のライトライン開業・バス路線新設による交通環境の変化・向上をトリガーとした意識・行動変容を訴求するため、沿線の「住民」「企業」「学校」を対象にモビリティ・マネジメントを展開

沿線住民に向けたMM （住民MM）

<R5>

清原・ゆいの杜等の約8,000世帯に対し、一斉にチラシをポスティング
経路検索システム「**乗ろうよ！ナビ**」を中心とした動機付け、アンケート

<R6>

住基データで抽出した平石・岡本等の約6,000世帯に対し、乗ろうよ！ナビや宇太陽東TCでの**乗継便利な時刻表**配布による動機付け、アンケート

沿線企業に向けたMM （企業MM）

<R5>

清原工業団地の8社、芳賀工業団地の2社に対し、総務担当者を訪問
始業時間に間に合う**清原TCからのバス時刻表**を動機付け、アンケート

<R6>

平出工業団地の6社に対し、総務担当者を訪問
各社毎に**アレンジしたチラシ・時刻表**を動機付け、アンケート

沿線学校に向けたMM （学校MM）

<R5>

宇都宮清陵高校の協力を得て、在学生4名に対しインタビューを実施
インタビュー内容をもとに**リーフレット**を作成・配布、アンケート

<R6>

作新学院大学の協力を得て、在学生5名に対しインタビューを実施
インタビュー内容をもとに**沿線マップ**を作成・配布、アンケート

住民MM

R6年度末時点の取組結果

- R5MMの結果を踏まえ、働きかけの効果が高く見込まれる属性を対象に働きかけを実施
- 平石・岡本エリアの約6,000世帯を対象に、**ウェブベースで事前調査**（「乗ろうよ！ナビ」の訴求含む）を実施
- その後、**事後調査**（最終回答：503件）を実施

公共交通の利用に関するアンケートにご協力ください！

宇都宮市交通政策課から
平石地区にお住まいの皆さまへ

皆さまお住まいの平石地区にライトラインが通るとともに、新たなバス路線が運行されてから約1年が経ちました。新たに開業したライトラインが、老若男女を問わず多くの市民の皆さまにご利用いただいているのを見ると、とても嬉しい気持ちになります。

そのような中、私も宇都宮市交通政策課では、クルマと公共交通を共存させながら、皆さまに「かしこい使い分け」をしていただこうと、今後とも様々な取組を実施していきたいと考えております。

その一環として、この度、平石地区にお住まいの皆さまに向けて、公共交通についての情報を提供するとともに、公共交通の利用に関するアンケートを実施する運びとなりました。下記のQRコードを読み取っていただき、ご回答いただければ幸いです。

アンケートはこちらから

アンケート回答方法

①QRコードを読み取る

・郵送の関係上、「世帯主」さま宛にお送りしておりますが、同居のご家族など世帯主と異なる方に代わってご回答いただいても問題ありません。その場合、11月頃に実施する事後アンケートでも同一の方にご回答いただけます。

②アンケートに回答する（所要：5分程度）

・アンケート連中で、ライトラインとバス経路検索システム「乗ろうよ！ナビ」を操作いただく説明がございます。ぜひ、チラシ裏面の内容もご覧ください。

・ご回答内容は、統計処理され、そのまますべてに公表されることはありません。

住めば
愉快だ
宇都宮

宇都宮市
Utsunomiya City

チラシに関するお問い合わせ
宇都宮市 総合政策課 交通政策課 TEL: 028-632-2160
システムに関するお問い合わせ（調査委託先）
（一財）計量計研研究所 TEL: 03-5990-9362

使っていますか？

乗ろうよ！ナビ

乗継割引など、お得な運賃制度を自動計算・反映！ ※年内の開業予定

宇都宮市で独自に実施しているお得な運賃制度（バスの上乗運賃制度、乗継割引制度）が適用される経路の場合、表示料金が自動で反映されるようになります！これができるのは「乗ろうよ！ナビ」だけです。

地域内交通（定時定路運行）が検索が可能に！

「ぐもっど石井号」「清原さまがけ号」「あの町この町号」3つの地域内交通の経路検索ができるようになりました！（乗り継ぎ利用する場合のルートも表示されます！）

※市内の開業予定

住所・施設名からの検索が可能に！

以前はライトライン停留場やバス停留の検索が対象でしたが、今回のバージョンアップで自宅からよく行くスポットまでの経路が「住所」や「施設名」を入力した検索ができるようになります！

※市内の開業予定

ご存じですか？ 新設バス路線

ライトラインとの組合せで、より使いやすく！

平石地区では、昨年のライトライン開業と併せて、宇都宮大学陽東キャンパス停留場に接続する3つのバス路線が新設されました。JR 宇都宮駅からの乗換などを想定し、この停留場でバスに乗り継ぐ際の待ち時間が少ないパターンを一体的に表示した時刻表を同封しております。ご自宅に近いバス停を通る路線のものをぜひ、ご活用ください！

新設バス路線

■ 岡本駅東口線（ヘルモール・岡本駅）
■ 平石・ヘルモール駅線（ヘルモール駅）

◀【参考】住民に向けたアンケート協力の依頼チラシ

- 居住地や年代に応じた**9種類のQRコード**付きチラシを郵送
- 裏面には動機付けツールである「乗ろうよ！ナビ」の紹介と別添の「**乗継便利な時刻表**」についての簡単な説明書き

ライトライン・バス・地域内交通経路検索

地図上の停留所を指定するか、出発地・到着地の住所や名称を直接入力することで、運賃・経路を検索できます

出発 地図上の停留所を選択/住所・施設名などを入力
到着 地図上の停留所を選択/住所・施設名などを入力

日付時刻
出発 2025.1.7 14時 27分
現在時刻設定
検索

地図上の停留所を選択/住所・施設名などを入力

ルート

比較情報

割引料金有無の比較

通常料金 490円 → 390円
上限運賃・乗継割引の適用後料金
※所要時間 1時間17分
※totraを利用してライトラインとバスを乗り継ぐと、2乗車の乗車運賃が100円引きされます。（60分以内の乗継が対象です）

自家用車との比較

クルマ

ライトライン・バス・地域内交通ルート

▲【参考】「乗ろうよ！ナビ」機能拡充

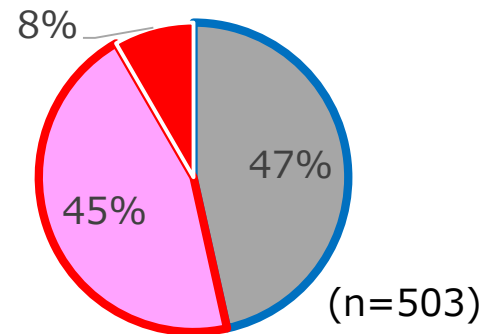
- 出発・到着地を住所／施設名／地図上で設定可能に
- **上限運賃・乗継割引の自動計算・反映**

住民MM

R6年度末時点の取組結果

事前調査

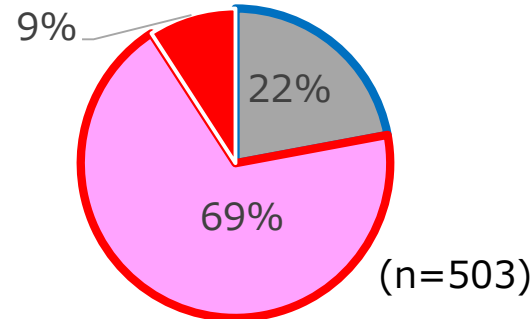
1-1 MM実施前（9月）



- ほぼ全ての移動をクルマに頼っている
- マイカーと公共交通を使い分けている
- 移動にはなるべく公共交通を利用している

1-2 MM実施後

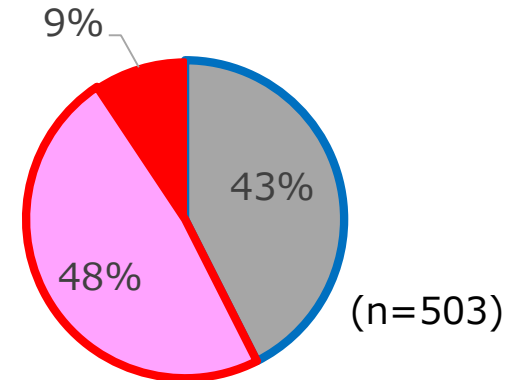
（乗ろうよ！ナビ操作後9月）



- ほぼ全ての移動をクルマに頼っている
- マイカーと公共交通を使い分けている
- 移動にはなるべく公共交通を利用している

事後調査

2 事後調査（12月）



- ほぼ全ての移動をクルマに頼っている
- マイカーと公共交通を使い分けている
- 移動にはなるべく公共交通を利用している

- MM実施前の段階で、すでに一定の公共交通とクルマの使い分けができている状況が確認できた
- 「乗ろうよ！ナビ」による動機付けにより、更に公共交通との使い分けの意向が大きく高まった
- 事後調査では、MM実施前と比較し、より一層の公共交通利用の定着が見られた

10

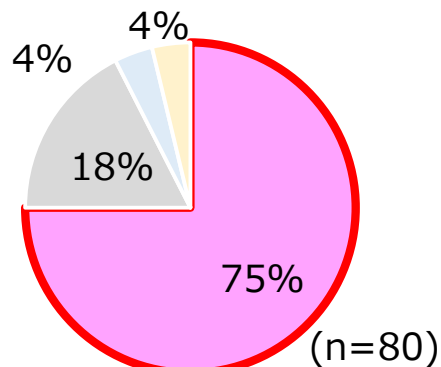
【資料3-1】沿線モビリティ・マネジメント（MM）事業について

学校MM

R6年度末時点の取組結果

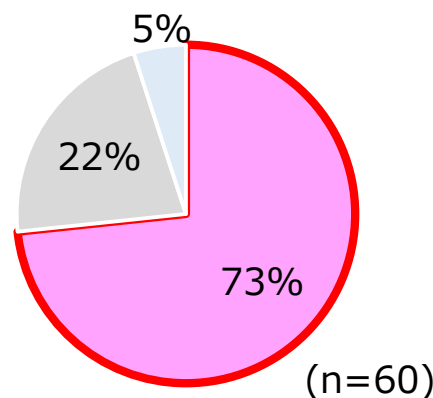
- 沿線に位置する作新学院大学にヒアリングを実施
- 大学生とともに在学生・新入生向けの**ライトライン沿線マップ**を作成
- 動機付けの配付による**利用意向の効果を計測**（全回答者：80名）

ライトライン利用意向
(利用したいと思ったか)



- 思った
- どちらともいえない
- あまり思わなかった
- 全く思わなかった

利用したいと思った回答理由



- 通学で利用できると思ったから
- 飲食、買い物で利用できると思ったから
- 沿線にも魅力を感じたから

- 「利用したいと思った」と回答した人が全体の**75%**（60名）に上り、その理由として、「通学で利用できると思ったから」と回答した方が約**73%**を占めた

【参考】動機付け沿線マップ



住民MM

R7年度の取組と進捗状況

- 「**地域内交通の底上げ**」を目的に、横川・瑞穂野エリアにて、**ワンショットTFP**による働きかけを実施予定
- 地域内交通を運営する地域組織にヒアリングを実施し、地域運営組織が行っている利用促進策の実施状況等を把握 ←
- 働きかけ資料を作成予定



現状と課題

地域内交通については、目的施設等の追加などにより年々利用者数は増加しているものの、地区によっては利用者数が減少している地域が複数見受けられるほか、下記のような課題感がある。

- 高齢者の乗りものというイメージが強く、**若年層の利用者が少ない**
- 特に**横川地区**、**瑞穂野地区**においては、**ライトラインの停留場を新たな目的施設として設定したにも関わらず、利用者が少ない**

⇒ これらの課題感の解決に向け、令和7年度は、まずは当該地区において働きかけを行うこととした

目指すもの

- 地域内交通を移動の選択肢とする住民（≒登録者数 or 利用意向割合）の増加
- 地域内交通を認知かつ肯定的に捉えてくれる住民の増加

実施方針

- **子育て世代や高校生以下**の世代及び60歳前後の方々をメインに働きかけ（必要に応じて乗車体験を実施）
- 運営や運行に携わる方や、実際に利用されている方のエピソード（物語）を聞き、**利用経験を実感できる読みもの**として提供 等

住民MM

R7年度の取組と進捗状況

地域内交通概要（二地区分）



瑞穂野地区（10,000世帯）
みずほの愛のり号
：ライトライン平石停留場,
JR雀宮駅へ接続



横川地区（6,000世帯）
よこかわいきいき号
：ライトライン峰停留場,
JR雀宮駅へ接続



企業MM

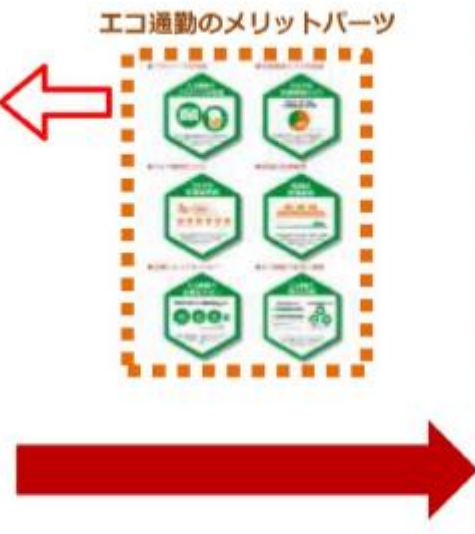
R7年度の取組と進捗状況

- 昨年度までにエコロジー・モビリティ財団「**エコ通勤優良事業所認証**」を取得した**市内事業所**（86社）のうち、軌道や路線の沿線に立地する企業等から**5～10社を選定し、働きかけを実施予定**
- 働きかけの効果が高く見込まれる事業所をしばらく含むにあたり、上記約86社に**アンケート**を実施 ←
- その後、どのような働きかけが有効と見込まれるか判断するため**ヒアリング**を行い、動機付け資料を作成予定
- 働きかけ後、その効果測定結果に基づく各事業所への**フィードバック**を実施予定

【参考】対象事業所への働きかけ資料素材（従業員向け社内ポスター作成ツールの提供）



エコ通勤のメリットパーツから
事業所にフィットするメッセージをカスタマイズ





事業所名も記載し
事業所オリジナルのポスターに







企業MM

R7年度の取組と進捗状況

- 昨年度までにエコロジー・モビリティ財団「**エコ通勤優良事業所認証**」を取得した**市内事業所**（86社）のうち、働きかけの効果が高く見込まれる事業所をしぼり込むにあたり、**アンケート調査**を実施

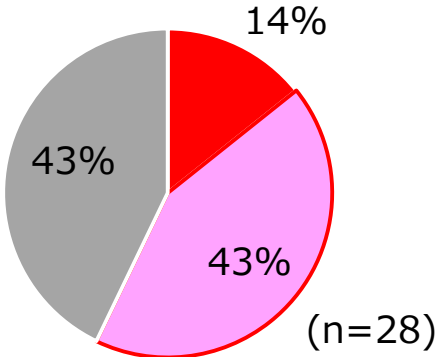
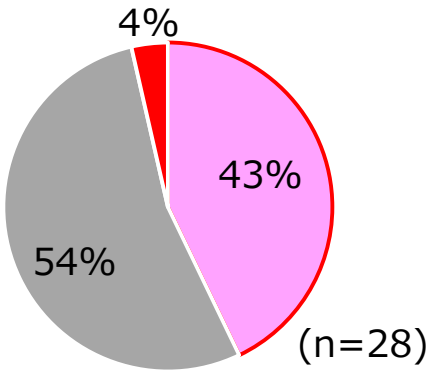
→ 28社（回答率：32.5%）から回答が得られ、「市によりエコ通勤のサポートについての意向」のうち

- ①「お困りごと、今後の取組についての相談」に興味を示した事業者：**13社**
- ②「従業員への呼び掛けコンテンツの提供」に興味を示した事業者：**16社**

⇒ 上記の事業者の中から、**事業者を絞り込みヒアリングなどの実施を想定**

対象者	「エコ通勤優良事業所認証」を取得した市内事業所（86社） ⇒ 回答事業者数：28社（回答率：32.5%）
調査期間	令和7年7月上旬から7月中旬
主な調査内容	・「エコ通勤優良事業所認証」を取得したきっかけ ・エコ通勤の取組状況 ・市によるエコ通勤の取組のサポートについての意向 ①お困りごと、今後の取組についての相談 ②従業員への呼び掛けコンテンツの提供 等

お困り事、今後の取組についての相談 従業員への呼びかけコンテンツの提供



■興味がある ■少し興味がある ■興味なし ■興味がある ■少し興味がある ■興味なし

学校MM

R7年度の取組と進捗状況

- 「**若者に刺さるMM**」のアイデアを、若者（大学生）自身に、これまでの公共交通利用シーンなど実体験に基づいた提案をしてもらうため、アイディアソンイベントを実施 ←
- 宇都宮大学 長田准教授にご協力いただき、開講されている講義の中で「**事前講義**」及び「**アイディアソン**」を行ったのち、アイデアの具体化に向けたワークショップを実施予定（後期授業）
- アイディアは、実際に取り組むまたは動機付け資料に落とし込むなどの形で実施し、フィードバックを実施予定

受講学生※へ
事前アンケート

アンケート結果は
アイディアソン
基礎資料等に反映
※2年生の学生40人

7/10（木）
「事前講義」
+ 説明

宇都宮市による
交通まちづくり等
取組状況の紹介
(市⇒学生へ講義)

7/17（木）
アイディアソン

事前アンケート結果や
事前講義の内容を踏まえ、
アイディアソンを実施

後期
ワークショップ

「**アイディアソン**」で出た
具体的な取組方法について、**市**
の政策として実現できるよう、
ワークショップを実施

宇都宮市が
具体化
・取組実施
※大学と協働

「ワークショップ」で出た具体的な取組に
ついて、大学と協働で進めていく。
(左記の取組内容如何により、実施内容を
検討)

受講学生に
フィードバック

フェーズⅠ

フェーズⅡ

学校MM

R7年度の取組と進捗状況

今後、後期授業でのワークショップに向けて
アイデアソンの内容整理等を実施



【参考】7/10 事前講義の様子



【参考】7/17
アイデアソンの様子

